

# まき

発行所  
西蒲原郡  
巻町公民館  
編集人 北川郡司  
印刷所 北洋印刷株式会社

## 巻町一万六千七百人の有権者と

# 十名の立候補者

## 衆議院議員選挙

衆議院議員総選挙立候補者	
氏名	政党
北 野 幾太郎	自由民主党
高 野 幾太郎	無所属
樋 口 幸吉	日本共産党
大 島 秀一	自由民主党
桜 井 奎夫	日本社会党
松 井 誠	日本社会党
高 橋 清一郎	無所属
倉 品 克一郎	無所属
広 神 伊藤	無所属
高 杉 喜八	無所属

### 投票時間

### 午前五時より午後六時迄

今日二十二日の投票日を目前にして、衆議院議員総選挙も苛烈の度を加えてきた。巻町選挙管理委員会では既に決定している、投票所の減少と、多忙期の乗権防止に備えて県にも連絡の上、投票時間を二時間早く、午前五時からと決定した。

巻町全体の有権者は、前回、昭和三十年の衆議院議員選挙当時に比べて一千百人位多くなっている。忙しさのため、立合演



(立会演説に耳をかたむく 巻小にて)

### 知ってほしいこと

選挙人の基本名簿は勿論、補充選挙人名簿もほぼ決定した。他町村より巻町に移住して来て三ヶ月過ぎた人でも、また選挙当日までに満二十歳になる青年でも、去る九日までの申告期限が切れたので名簿に氏名が記載されてなければ、投票出来ないことになる。

また不在投票について公務や仕事のため旅行する人や、病氣、お産の方は町村長や、医師、産婆の証明で、不在投票ができるが、係に是非書いてほしい。(電一九〇)

投票所名	場所	有権者数		
		男	女	計
第一投票所	巻小学校	944	1,150	2,094
第二投票所	巻公民館	1,201	1,352	2,553
第三投票所	巻専福寺	1,354	1,563	2,917
第四投票所	漆山駐在室	459	541	1,000
第五投票所	並岡源昌寺	313	372	685
第六投票所	漆山中学校	597	677	1,264
第七投票所	竹野町校	721	816	1,537
第八投票所	入徳館校	440	531	971
第九投票所	松野尾校	598	730	1,328
第十投票所	越前小学校	615	894	1,509
第十一投票所	四ツ郷屋校	260	275	535
第十二投票所	浦浜駐在室	130	210	340
合 計		7,632	9,111	16,743
前回の投票率		男	女	計
		90.30%	87.19%	88.60%

選挙は天候の関係で農作業の遅れていることと、田植えにかかることで、投票率が下るのではないかと、憂慮されている。

▼報導機関の発達から国際問題、国内政治について、よく知っているようになった。

▼町村や部落の問題にも強い関心や、住民としての監視のあることはよいことだと思ふ。

▼しかし、自分達の生活や、自分達の町村と関連のある国の政治とのつながりについて、真剣に考えなかつたり考えなかつたりする者の多いのに驚く。

▼これを政治への不信といつてかたづけは政治は何時までたつてもよくならない。

▼このつながりに関心を示すことによつて、国の政治も、自分達の生活もよくなつて行くことを真剣に考えたい。

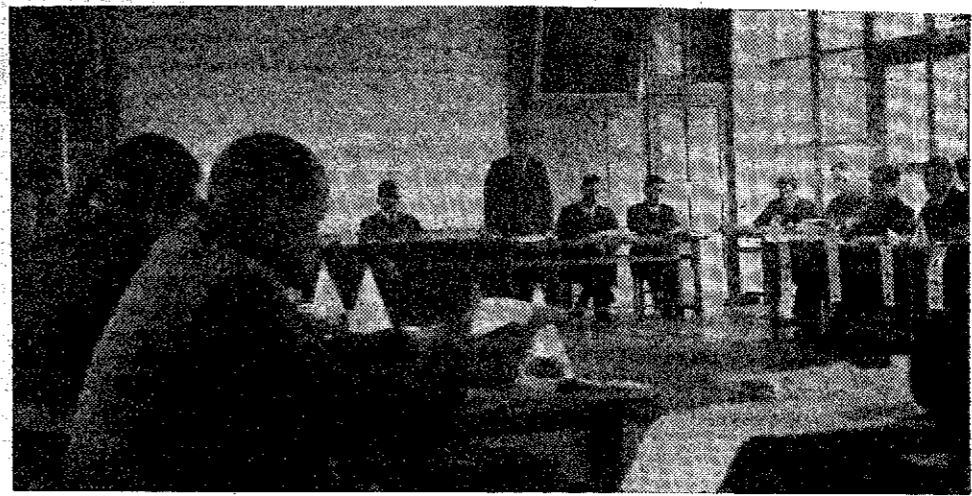
▼忙しいことも判る。しかし義利や体裁でする投票であつてはならない。

▼昭和三十年の衆議院議員選挙の投票率は決して悪い成績ではなかつた。

▼今回の選挙は天候の関係で農作業の遅れていることと、田植えにかかることで、投票率が下るのではないかと、憂慮されている。

一億二千余万圓(一般会計) 卷町予算算

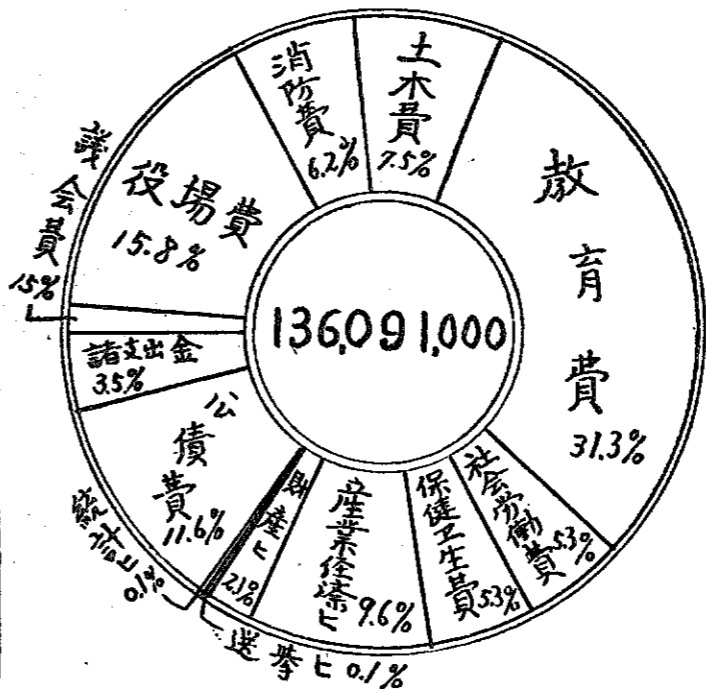
赤字解消の見通し 昭和三十三年度卷町予算算議会は三月十日開会された。



本年度一般会計才入出予算算額は一億二千六百九十九万七千四百七十四円増額となつてゐる。この外特別会計では国民健康保険四千二百六十二万六千円、病院七千三百五十万、水道二千八百八十八万八千円が提案され、一般質問に就いて各常任委員会に於て慎重審議の上二十四日可決決定されたものである。昭和三十三年の施策の概要について河治町長は次のように語つておられた。

三年の施策の概要について河治町長は次のように語つておられた。合併目的の達成と住民の福祉増進

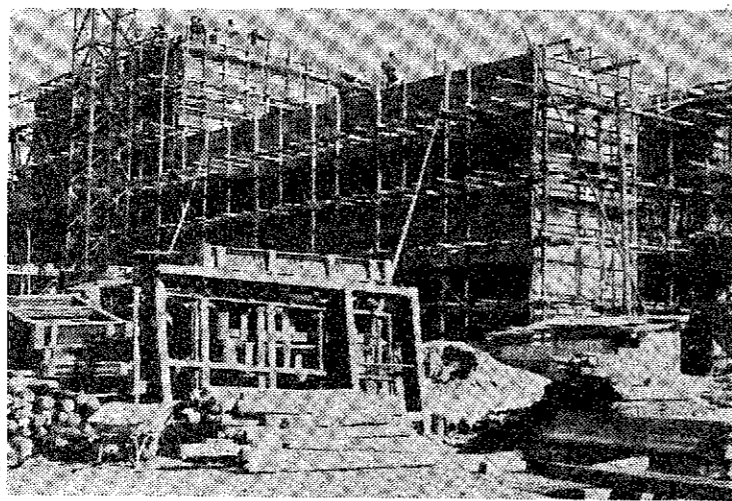
款別分類表



の動きは当時の五カ年計画をして更にその規模と構想を練り直さなければならぬものもあつた。本年度はこの計画に對し慎重な検討を加へ、合併目的の達成と住民の福祉増進をはかりたいと思ふ。今年度で財政再建の完了を見込む

みなさんの御理解と御協力があつてこそ望まれるもの。町民税以外のその他の才入に於ては税制の改正に伴う減収、固定資産の評価替えによる増収、交付税率の一・五%増等増減はあるが算出をまかなうに足りる財源は確実に確保する措置を講ずると共に納税觀念の鼓吹に努力する。

主なる事業 (教育費) 何んといつても教育関係が一番です。巻小学校の北校舎鉄筋三階建十二教室の改築、二千六百万円、峰岡中学校グラウンド敷地五十八万八千円、浦浜中学校の特別教室五十万、越前小学校グラウンド敷地五十四万、その外公民館始め小中学校の修繕費合計百八十三万二千円、それに今年から奨学金三十万を予算化してある。



完成を急いでいる。この工事は三階建四〇坪鉄筋コンクリートの診療棟の外手術室ポイラー室、給食室、木造二階建ての病棟等延八〇〇坪でこれが完成すれば現在の延五〇〇坪と合せて量、質ともに町村立病院としては全国でも屈指、一大偉容を誇る事になる。山容も一変ゴルフ場工事進む 直接には町の事業ではないが、裏日本初の

戸籍が改製されます 役場だより 改製の方法 1. 次の例示の方法によつて行います。 2. 新戸籍を編製する場合の本籍は従前の本籍地番と同じ場所になります。 3. 旧法中(昭和二十二年五月三日以前)に嫁入りした夫婦の場合、改製による当然の措置としては妻を筆頭者とするのが原則であります。夫婦双方からの申出があれば夫を筆頭

者とする事ができます。改製の対象になる戸籍が改製期間中他の市町村へ転(分)籍届を提出し、上調りが生じやすくなる

なりますから現在の本籍地に届出又は新本籍を定める様御協力をお願いいたします。

田、越前浜にそれぞれ可搬動力ポンプを一台ずつ入れる事にした。堀抜井戸を角田七本、松野尾六本、峯岡地区に貯水池、峯岡、漆山東法上に鉄塔を一基ずつ設ける。その他器具の置き場を松山、河井鶴ノ木に作りおす。

(消防費) 消防費では漆山、角田、越前浜にそれぞれ可搬動力ポンプを一台ずつ入れる事にした。堀抜井戸を角田七本、松野尾六本、峯岡地区に貯水池、峯岡、漆山東法上に鉄塔を一基ずつ設ける。その他器具の置き場を松山、河井鶴ノ木に作りおす。

(産業経済費) 昨年引きつづき動力散粉機を今年も七十七万四千円予算化した。巻全地域を完全に防除するために一六〇台の機械化に伴い今年も農道に入れる砂利を百二十九万五千円を確保した。観光施設の整備中江簡改修工事、五ヶ浜海岸の陸橋等の事業を増築工事も予定の八月

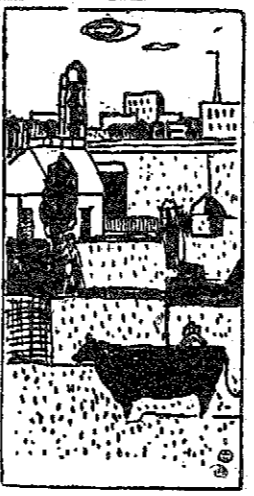
(財産費) その外鐵道下宿事務所の整理、公営住宅上の買収費、鶴ノ木公民館等二百二十万円がある。この外日量千貫の塵芥を処理する焼却場を今年つくる予定全国でも屈指の町立病院

町立病院が誕生してから年々発展し、最近では現在の施設だけでは患者に充分なサービスも出来ない。昨年以來着工にとりかかった増築工事も予定の八月

改製の対象 昭和二十二年五月三日以前に分家、家督相続、一家創立、帰化などにより戸主となつた古い様式の戸籍に作り替へるものです。 改製の方法 1. 次の例示の方法によつて行います。 2. 新戸籍を編製する場合の本籍は従前の本籍地番と同じ場所になります。 3. 旧法中(昭和二十二年五月三日以前)に嫁入りした夫婦の場合、改製による当然の措置としては妻を筆頭者とするのが原則であります。夫婦双方からの申出があれば夫を筆頭

### 昭和33年度巻町歳入歳出予算 (単位千円)

歳入			歳出		
科目	本年度 予算額	前年度 予算額	科目	本年度 予算額	前年度 予算額
(1)町 税	78.128	72.185	(1)議 会 費	1.947	1.306
(2)地 方 交 付 税	19.341	11.581	(2)役 場 費	21.542	20.181
(3)財 産 収 入	5	638	(3)消 防 費	8.461	8.978
(4)分 担 金 及 負 担 金	1.921	0	(4)土 木 費	10.187	7.682
(6)使 用 料 手 数 料	1.179	2.970	(5)教 育 費	42.642	21.724
(7)国 庫 支 出 金	10.704	4.339	1.教育委員会費	3.338	2.773
(9)県 支 出 金	892	1.320	2.社会教育委員会費	22	46
(9)寄 付 金	702	1.342	3.巻小学校費	27.764	1.624
(12)雑 収	6.651	7.116	4.竹野町小学校費	537	851
(13)町 債	16.566	2.300	5.入徳館小学校費	468	440
			6.浦浜小学校費	229	199
			7.松野尾小学校費	486	2,400
			8.越前小学校費	995	497
			9.四ツ郷屋小学校費	348	340
			10.漆山小学校費	828	5,345
			11.巻中学校費	1,046	1,945
			12.峰岡中学校費	1,105	591
			13.浜松中学校費	679	603
			14.浦浜中学校費	648	158
			15.漆山中学校費	1,064	1,000
			16.公民館費	3,043	2,906
			(6)社会及び労働施設費	7,270	6,756
			1.民生委員費	186	194
			3.住 宅 費	123	26
			4.児 童 福 祉 費	2,554	2,551
			5.巻 保 育 園 費	1,849	1,578
			6.越前保育所費	1,084	1,070
			7.四ツ合屋保育所費	860	908
			8.労 働 費	53	31
			9.社 会 福 祉 費	453	395
			10.町 葬 費	100	0
			(7)保 健 衛 生 費	7,178	3,478
			1.伝 染 病 予 防 費	1,267	1,236
			2.隔 離 病 舎 費	680	680
			3.結 核 予 防 費	576	559
<b>歳 入 合 計</b>	<b>136.091</b>	<b>103.793</b>	<b>歳 出 合 計</b>	<b>136.091</b>	<b>103.793</b>



#### やさしい常識から

##### 巻国民科学講座

昨年文部省の委嘱に  
よって始められた国民  
科学講座は「秋の野草  
」「星」「佐久間ダム  
」等大変好評を得て続  
けられて参りました。  
第二年度を迎えた今  
年はすでに四月関係者  
が寄って計画が出来上  
りました。

計画の主なもの、  
竹野町山、角田山周  
の野草、樹木、昆虫、  
星座、身近な物理と化  
学(ミシン  
の話、せん  
たたく、刃物  
のはたき  
シヤンのさ  
び跡をとる  
実験)鑑濁  
の生い立ち  
電気、悪水  
と下水鳥(ハ  
さかうち物  
語)等で、  
ハイキング  
登山、映画  
スライドに  
よって学習  
を進める。

#### 賑った花まつり

##### 二十の扉など

花まつりは、例年の如  
く、五月二日から五日  
まで奉賛会主催で催さ  
れた。四郷屋、角田、  
越前、松野尾、仁箇、  
稲島、福井、竹野町の  
地区は保育所を主体に  
河井、並岡、漆山、巻  
は地域の子供さん対象  
に、童話、紙芝居、人  
形劇等、中にはその地  
元の子供さん達のおど  
りも加えて、賑やかに  
拍手と笑いを、まき  
起した。特に五月五日  
の子供大会は、藤見座  
で八百余人つめかけ、  
子供の日だけに盛会で  
あった。巻小学校生徒  
さん有志の合唱、仁箇  
竹野町、両保育所のお  
どり、中学生の舞踊、  
お母さんと子供さんの  
対抗の扉等は特に好  
評を受けていた。

#### 竹野町分館で 文化祭

文化祭と言えば、菊  
花の薫る秋とされてい



#### 白根町公民館 分館視察に来町

四月二十八日、白根  
町公民館の視察団が来  
庁、午前には館長より概  
況説明を聞き、午後は  
本年新築されたばかり  
の中郷屋分館や文化祭  
の行事の催されてい  
る竹野町分館や、木分  
館の現地視察を終えて  
午後四時すぎ帰途につ  
いた。

記録写真  
が提供さ  
れ、盛会  
裡に終っ  
た。

#### 県バレーボール大会 六十五チーム

午後雨に見まわれ一  
般男子を除き途中より  
試合を中止した。

新鴻県バレーボール  
協会、巻町体育協会主  
催、公民館など後援の  
第七回新鴻県春季バレ  
ーボール選手権大会は  
去る二十七日、一般男  
子、一般女子、高校男  
子、高校女子六十五チ  
ームが参加して開会さ  
れた。

この日定刻午前八時  
半全選手整列、開会宣  
言、開会の挨拶、河治  
町長らの祝辞、巻高生  
の選手宣誓があつて巻  
中、巻農高校、巻小な  
ど七コートで一斉に競  
技が開始された。



#### サイクリング

松野尾青年男女約三  
〇名は、快晴の五月  
三日、弥彦山登山を  
目的に早朝より出発  
し、代かき前の一日  
を楽しく過した。  
青年団の社会奉仕と  
して、学校の林の下刈  
り、木起し等、団員  
五〇名が参加、野兎  
がとび出し、捕獲す  
る等、全員和気あい  
あいの中に一日終  
了。

#### 農村女性の地 位に思う

農村の今日の生活  
特に嫁の立場であ  
る。朝は早くから男  
と同じ仕事をし夕方  
おそくまで働き、帰  
ってくれば又家で仕  
事が待っている。食  
事の後仕末から洗濯  
この外子供の世話か  
ら家の中のこまかし  
いものはみんな女の  
仕事である。

現在の姿では  
女の職業のうち重  
労働の第一に上げ  
られるのではない  
でしょうか。新聞を  
読むひまなどどこに  
も見当たらないそれ  
が為明るさや伸びず  
とした心にもなれず  
寝る時だけが自分の  
自由の時間とされて  
いる生活、女性の地  
位の低さになやまさ  
れる、封建性に立  
破、生活改善と新生  
活運動の推進が叫ば  
れる今日尚農家に於  
ける封建性の根は深  
くどこまでも続いて  
いる。この様な状態  
では若い希望にふく  
まれている胸を無  
惨にふみにじられ農  
村を嫌ひ都会に憧れ  
る女性が多くなるの  
も無理がないだろ  
う。適当な農地、明  
しき安定した生活が  
許されるなら農業こ  
そ生活難の世の中に  
一番理想的な職業と  
言えるだろう。

この職業に若い人  
達が真にやることで  
従事出来るなら言  
うならば農業に愛着を感  
期には息もつく間も  
なく「忙がしき」に  
追い廻されていくの  
だ。せめて農閑期に  
は自由時間を多くと  
ってやりたいと思  
う。

同等の権利が定め  
られていく今の世に  
女として尊敬されそ  
の後役割を果して始  
めて女の幸せと意義  
ある生活が生れるの  
ではないでしょうか。  
か。女というものを  
もう一段高く姑や男  
性に認識してもらい  
たいものです。  
(巻町九区K子)



# 家庭の合理化は

## メートル法から

計量法に基づき来年一月一日から、私達の日常の計量が、すべてメートル法に切り替えられることは皆さんもすでにご承知のことと思います。

### 世界に類のない

もともと日本のメートル法統一運動は古く大正十年にさかのぼります。しかしその頃はまだメートル法も充分に普及していません。そのため、反対も多くその後、戦争や占領によって、長い間混乱を続けてまいりました。

日本の三本立私達の日常生活には尺貫法、ヤードポンド系、メートル系の三系統の単位が雑然と使われています。

日本のこの多くの単位はそう簡単にはおぼえられないものでなく、又簡単に換算できるものでもありません。そこで私達はつい、すべてをあいまいの中に放置してしまおうことにな

石と石高ですが、輸入はトンと変ります。さらに米の配給はキログラムになり、主婦は何升何合でたいています。「私達は別にそれ苦にしているし、困っているわけです。単位は量の観念を育てない

ります。主食の米についても、若し発表が生産量も輸入量もメートル法のトンで、家庭の消費もやはりキログラム、そしてパンは斤でなくグラム建だったら、主婦も子供も直ぐに自分達の生活と日本

の食糧との関係も簡単に理解できると思えます。すべての食品がそうならば家庭の合理化はひとりです。今からお互にメートル法で売買できるように努力したいもの。

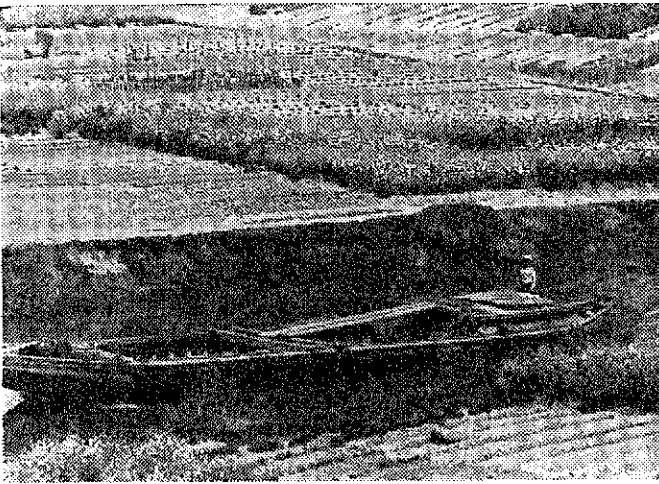
「泥棒」—警察  
強盗、窃盗、ゆすり  
たかり、生命や身体財産など危険を感じるとき。

「火事」—消防署  
火災発見のとき。  
「救急車」—町立病院  
人命に関する事故発生等による医師連絡。

編集後記  
—選挙の月を迎えてよ  
うやく館報が発行されました。

### 日常のメートル法

タバコの長さ	7センチ	(約2寸3分)
クツ	25センチ	(10文3分)
牛乳一本	180cc	(1合)
酒	1,800cc	(1升)
配給米一日分	365グラム	(約2合5勺)
木炭	30キログラム	(8貫俵)
お総菜	400グラム	(約107匁)



# 西川

## その(一)

自然の風情が、社会の変貌によって移ろうてゆく。その一つを西川についてみてみよう。

西川は郡の西部を南北に貫いて四十軒、生産に文化にもたらした恩恵は大きい。

治水の問題はさて置き、陸上交通未開発の頃までは

船着場には丁持(ちようもち)がたむろし、物資を積おろした。

その後鉄道、トラクタ等の輸送機関が発達し、上流の砂利、砂など積んで通う舟が時折上り下りするのみで、一応水路としての生命は終った。

今は高度な水利源として

主要な水路として  
蒸気船が航行し、  
堤外地の畑には菜の花の黄が、さみどりの作物と織りなして美しく、広々と開けた田圃には春耕に立ちゆく人々が望まれ、耕耘機の音もはずんでいる。

# 火の用心

## 巻消防署

今月は昭和三十三年度の巻町の方針、予算を紹介いたしました。合併時に背負った赤字二千四百万円が今年度中に解消するという明るい見通しが樹てられ、来年度からは健全なる自治体として大きな飛躍が期待されます。世論を賑わしていた

国会もついに四月二十五日解散、五月二十二日に衆議院議員選挙と最高裁判官の国民審査が行われることになりました。選挙は公明選挙で、この時期になると、やがてこの時期になると、誰れでもが知っている、公明選挙運動が繰り返されるのはどうした訳なのだろうか、自分一人位いだらうという安易な気持が、日本の国政を誤るものであり、民主政治を自から破壊するものでもありません。

私達はこの選挙に当り自分の主権を委せるにたると信ずる人に正しい投票をすることが自からの幸福をつかむことにもなります。五月二十二日は国民の権利である投票を棄権することなく行使いたしたいものです。



★ ★ ★